

以下の発言内容に対する質問表

【1】発言内容 平成28年6月協議会会議録 9p 4行目

民間施設ではVOC対策は一切していないが、従業員に健康被害はない。
 多摩地域で容器包装プラスチックの圧縮梱包で被害が出ている具体的な事例は出ていない。

・質問

施設の近くにある地域在住の小学校と、そうでない小学校での呼吸器系疾患の件数などのデータを提示して欲しい。

・回答

健康への影響は無い施設であることから、そのようなデータの持ち合わせはしていない。
 また、呼吸器系疾患の関係を調べるのであれば、まずは、大気汚染防止法に規定する施設から検討した方が良いのではないかと考えます。

・質問の目的

従業員は職場にいる時間が限られている。

3施設は一体と考えるのであれば、環境も3施設を一体で考えるうえから、焼却施設、容器包装プラスチックの圧縮梱包の両方がある地域と全くない地域でお願いしたい。

・回答について地域委員の認識、および見解

【2】発言内容 平成28年6月協議会会議録 48p 10行目

面積が違うとか、やっている品目が違うとかおっしゃるから、同じ施設は全国的にみても見受けられない訳です。不燃ゴミと粗大ごみとを一緒に処理していたり、あと、びん、缶、と一緒にやっていたり、そういう施設があるからそういうわけであって、実際に容リプラの圧縮については住宅地でもやられていることは認識していただきたいと思います。

・質問

3市共同資源物処理施設と同じ条件の立地はあるか。
 ・敷地面積が同じかそれ以下、
 ペット、容リプラ処理量が同じかそれ以上、
 周辺に住宅が近く、なおかつ住宅より後に施設が建設、もしくは大きな施設に更新されたところ。
 ※他の品目が処理されていても、上記が同じであるところ。

・回答

平成27年1月17日開催の協議会で資料提供をし、説明をしたとおりです。
 なお、住宅が施設より後に建ったとしても、施設の稼働と住宅の関係は、何ら変わりがないものと考えます。

・質問の目的

| | |
|-----------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------|
| 同じ質疑応答が何度なくされている。 | |
| ・回答について地域委員の認識、および見解 | |
| | |
| 【3】発言内容 平成28年5月協議会会議録 53p 12行 | |
| ・質問 | ・回答 |
| A. 廃プラ処理施設の上流は？ | 各家庭などの排出 |
| B. 小平市は一遍民間委託でもして、これだけの量を分別させたらこれだけの量になりましたからという数字に確定をしていただきたい。 | 3市共同資源物処理施設での処理を前提に考えておりますので、他の方法での処理については、考えておりません。 推計値をもって対応可能であると考えます。 |
| ・質問の目的 | |
| 廃プラ処理施設を建てるに当たって上流が整備されていないうちに建ててしまうのはおかしい。 | |
| ・回答について地域委員の認識、および見解 | |
| | |
| 【4】発言内容 平成27年12月会議録 47p | |
| ・質問 | ・回答 |
| A. 各市が2品目と4品目と分けて処理することにどういうメリットがあるのか。 (コスト比較を含め具体的に提示) | (東大和市) 容リプラを公設で処理する場合、1市の負担では、処理施設の建設や維持管理に多額の費用が伴うため、優先順位を決めた中で実施していくことになる。 |
| B. それらを3市市民に提示して欲しい。 | |
| ・質問の目的 | |
| 当初あげられた共同メリットが達成されず、事業が進められている。 | |
| ・回答について地域委員の認識、および見解 | |
| | |

2016年7月9日 グランドメゾン玉川上水センタースクエア 専任者 森口恵美子